

第16回安曇野市都市計画審議会 会議概要

- | | | |
|---|-----------|--|
| 1 | 審議会名 | 第16回安曇野市都市計画審議会 |
| 2 | 日 時 | 平成22年10月22日 午後1時30分から午後2時20分まで |
| 3 | 会 場 | 安曇野市豊科総合支所 第2会議室 |
| 4 | 出席者 | 内川委員、竹岡委員、宮川委員、勝野委員、藤澤委員、丸山委員、横川委員、
布施委員、水谷委員、谷委員、小林委員、青嶋委員、宮下委員、中山委員 |
| 5 | 市側出席者 | 都市建設部：久保田部長、都市計画課：内田課長、鎌崎係長、城取主査、
山田主査、田中主査 |
| 6 | 公開・非公開の別 | 公開 |
| 7 | 傍聴人 | 0人 記者 1人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成22年10月26日 |

協 議 事 項 等

- 1 会議の概要
1. 開 会 (内田課長)
 2. あいさつ (久保田部長) (藤澤会長)
 3. 会議事項

(1) 安曇野市都市計画マスタープラン (案) への意見聴取について	}	(事務局より説明)
(2) その他		
 4. 閉 会

意見概要

- (1) 安曇野市都市計画マスタープラン (案) への意見聴取について

○高規格道路について、県議との懇談会が新聞に出ていた。
新聞では道路を容認したと読めた。理事者に対して本会議でどのような議論がされているかきちんと申し上げないといけないと感じる。要望しておきたい。(委員)

→松本糸魚川連絡道路については広域道路として県で計画されており、一番有力な案として仮称豊科北インターということで、同盟会としてもこの事業を促進するという方向が出ているため、それを要望した。実現しインターをつくるのであれば「安曇野」という名称を入れてほしいと附帯的な要望として申し上げた。
場所的にも、路線的にも市としての議論はこれからであるため、その点については今後の検討の中から県に申し上げていく。(事務局)

※都市計画マスタープランの成案化に対して了承される。

○その他の関連計画との整合という形でこの都市計画マスタープランも構成されている。都市計画マスタープランでいう土地利用とか都市施設整備等の基本方針が掲げられているが、それとも深く係わってくる案件についてはその内容について説明をいただきたいという趣旨の意見を添える (会長)

○9月議会で適正な土地利用に関する条例が可決され、これから施行されていくがこの条例の中に土地利用基本計画を策定する時は、その条例に定める土地利用審議会の意見を聴き市長は土地利用の基本計画を定めることとなっている。土地利用は都市計画の個別、具体的な決定や見直しに大きく係わってくるため、認識を共有するという意味でその節目で本審議会にも調整されるようお願いを申し上げる。(会長)

○土地利用審議会が新しく設置され、現在の都市計画審議会があり、景観審議会があるが、都市計画審議会では都市計画決定に係わるものが審議案件となる。例えば道路網計画であれば全市の道路網計画が頭に入っていないと都市計画道路の部分的な箇所可否を判断することは難しい。各審議会の役割分担と、関連する資料の提示をお願いできるか。(委員)

→都市計画審議会は、都市計画法で定められている都市計画の決定、変更に関することを主に審議していただく。土地利用の関係では新たな条例の中で土地利用基本計画の策定に当たって意見を聴くことを条例化してある。

ご意見のとおりその部分だけを見て決定、変更を判断するのは難しいため、付随する資料については出していきたい。(事務局)